

教 育 研 究 業 績

氏名：小坂田 摩由

学位：修士（社会科学）

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
社会科学	教育社会学、児童文化、児童文学	
主要担当授業科目	子どもの文化と言葉、子どもの理解と援助、言葉領域指導法演習、幼児教育基礎演習、課題研究 A・B	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
「保育学」「児童学概論」における実習・体験を交えたアクティブラーニング	2022年9月～2024年1月	<p>東京家政学院大学（非常勤）・現代家政学科で開講された「保育学」「児童学概論」において行った。絵本の読み聞かせ実習や幼児向けテレビ番組の分析など、誰もが子ども時代に経験したことのある遊びを授業にアクティブラーニングの形で取り入れ、学生が積極的に授業へ参加することで、自分の経験してきた遊びを客観的に見られる機会とした。また、グループディスカッションも取り入れた。</p> <p>資料の提示にはパワーポイントを用い、ニュースで取り上げられている子ども関連の話題などについては、視覚的にわかりやすいよう適切な動画を視聴させることも行った。また視覚に障害を持つ学生の要望に応え、文字サイズを調整したスライドを表示した。</p> <p>授業の最後にはコメントペーパーでのコメントを回収し、授業中に伝えにくい意見や要望などもあれば教員に伝えるよう促し、授業の改善に役立てた。</p>
2 作成した教科書、教材		
① 子育て支援員研修用資料「地域型保育の概要」「地域型保育の運営」「見学実習オリエンテーション」「一時預かり事業の概要」「一時預かり事業の運営」	2019年7月～2020年7月～2021年3月	<p>子育て支援員として必要な専門知識を網羅できるよう、適切な授業資料をパワーポイントで作成し提示した。また、新型コロナウイルス感染症蔓延時には、授業内容を動画に収めオンデマンド配信とした。</p>
② 「保育学」「児童学概論」授業資料	2022年9月～2024年1月	<p>毎回の授業内で学生からコメントを回収し、次回の授業でフィードバックする形で授業資料を作成した。よりひとりひとりの経験や興味に基づいた授業となるよう、専門的な知識をただ並べて教授するだけではなく、コメントで得られた学生の経験と専門の知識を結び付け、具体的に理解できる形で示した。</p>
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
令和4年度・学生による授業評価アンケート	2023年6月6日	<p>学生による授業評価アンケートにおいて、満足度の高い回答を受けた（授業内容に関する項目において、すべて平均より高い結果を得た）。「将来教員となって子どもについて教える際も、自身が子どもをもって親として生きる上でも必要な知識が付き、将来に役立つ授業になった」などのコメントがあった。</p>
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
5 その他		
お茶の水女子大学いずみナーサリーでの保育ボランティア	2016年4月～2017年3月	<p>お茶の水女子大学内の保育所（3歳未満児対象）であるいずみナーサリーにて、ボランティアとして主に1～3歳未満児の保育に参加した。日々の遊びや絵本の読み聞かせ、散歩の付き添い、食事の介助、お昼寝の準備と見守りなど直接子どもと関わる業務に全般的に携わったほか、保育室内の季節の壁面構成の作成や、子どもが使用したおもちゃ・ぬいぐるみの修理、施設の清掃などの業務にも従事した。また、クリスマス会など季節の行事の準備・運営の補助も行った。</p>
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		

幼稚園教諭一種免許状	2017年3月	平28幼一第2822号
小学校教諭一種免許状	2017年3月	平28幼一第2356号
保育士資格	2018年8月	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研 究 業 績 等 に 関 する 事 項

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
1				
2				
3				
:				
(学術論文)				
1. 「子ども向け」の本とは何か——『不思議の国のアリス』の翻訳をめぐる——(修士論文)	単著	2019年1月		<p>ルイス・キャロル作『不思議の国のアリス』は、日本では原作者の設定した対象年齢と異なり、より幼児向けに改編された読み聞かせ作品が近年増加傾向にある。この現代日本の幼児向け翻訳作品、原作、更に原作者による乳幼児向け改作『子ども部屋のアリス』の内容の差異を分析した結果、邦訳には独自の改変があり、原作に忠実な訳よりも子どもが不安なく穏やかに物語を体感することを目指す配慮が重視されていると明らかになった。</p> <p>現代日本で翻訳出版されている『不思議の国のアリス』の挿絵では、「かわいい」と定義され得るデザインが増えている。近年の「かわいい」アリスの服装と、出版当初のアリスの服装は区別される。原著の出版以降アリスは服装を少しずつ更新し、読者と同じ場所・時代を生きる、子ども文化の中心的存在であり続けていた。しかし現代日本のアリスは、現代日本の女子と必ずしも同じ格好ではない。現代日本のアリスは、読者と同じ場所・時代を生きることそのものより、「かわいい」文化の体現者として存在していることが明らかとなった。</p> <p>現代日本で幼児向け書籍を出版する際、幼児に相応しい内容として重視される点や配慮を検討するため、児童文学『不思議の国のアリス』とそれを作者自ら乳幼児向けに改変した『子ども部屋のアリス』、そして現代日本の幼児向け『不思議の国のアリス』翻訳作品(80点超)の内容・言葉の差異を分析した。日本の翻訳には独自の改変があり、原作に忠実な訳出をするよりも、子どもが不安なく穏やかに物語を体感することを目指す配慮が重視され、言葉や展開すら変更される場合があることが明らかとなった。</p>
2. 現代日本の『不思議の国のアリス』——挿絵に見られる「かわいらしさ」をめぐる——	単著	2019年6月	お茶の水女子大学子ども学研究紀要第7巻 pp. 37-46	
3. 2010年以降の『不思議の国のアリス』翻訳における内容の変更点の分析——「幼児向け」の本となる上で加えられる配慮とは何か——	単著	2021年3月	人間文化創成科学論叢第23巻 pp. 51-59	

<p>4. データ入力作成フォームの大学における需要—Plone アドオンプロダクトFormGenと後継アプリ EasyForm の運用から— (4)</p>	<p>共著</p>	<p>2021年11月</p>	<p>高等教育と学生支援 -お茶の水女子大学紀要- 第12巻 pp. 33-39</p>	<p>共著：此下友恵・石田千晃・小坂田摩由・小里彩月 2012年頃からお茶の水女子大学教学 IR・教育開発・学修支援センターでは研究教育活動関連のイベント・アンケートの入力フォーム作成支援を、オープンソース Plone とそのアドオンプロダクト FormGen を用いて行っている。Plone と他の無償ツールの差異を個人情報保護の観点から検証し、利用実績と FormGen の後継 EasyForm の日本語翻訳チームとして国際的なコミュニティに貢献した実績を報告した。 執筆の担当部分は、協議して執筆したため特定できない。 共著：石田千晃・小坂田摩由・小里彩月 お茶の水女子大学の学修支援 Plone の改修について報告した。本学では 2012 年から汎用 CMS である Plone を学習支援用にカスタマイズし、主に新しい実験的な取り組み用のプラットフォームとして活用してきた。しかしユーザ数の増加やシステムのスペック的な限界に達し、大規模なシステム改修を実施した。この改修内容を、Plone 導入以前から使用されている Moodle との機能や使い方の違いを比較しつつ報告した。 執筆の担当部分は、協議して執筆したため特定できない。</p>
<p>5. 汎用 CMS、Plone の学修支援システムとしての運用とシステム改修の報告 (3)</p>	<p>共著</p>	<p>2021年11月</p>	<p>高等教育と学生支援 -お茶の水女子大学紀要- 第12巻 pp. 40-46</p>	<p>OECD 教育・スキル局はかつて定義したキー・コンピテンシーの再定義を模索する中で、エージェンシーという新概念を提唱した。この過程においていかなる考え方の変容があったのかを、その契機の一つである教育プロジェクトである OECD 東北スクール、そしてそのプロジェクトの目標となったイタリアのレッジョ・エミリアの教育理念の分析を通して明らかにした。その結果、エージェンシーとは OECD 東北スクールの実践から得られた「主体性をもって関わり合う人々の関係性」に着目した概念であり、OECD は個人のスキルに重きを置いたキー・コンピテンシーから、人が結び合う関係を重視するように考え方を変質させていることが明らかとなった。</p>
<p>(その他)</p> <p>1. スター発表 現代ファンタジーに見えるジェンダー観——ダイアナ・ウィン・ジョーンズ『魔法使いハウルと火の悪魔』から</p> <p>2. 学会ポスター発表 平成の『不思議の国のアリス』</p>	<p>単独</p> <p>単独</p>	<p>2023年3月</p> <p>2018年5月</p> <p>2019年5月</p>	<p>人間文化創成科学論叢 第25巻 pp. 61-72</p> <p>日本保育学会 第71回大会(宮城学院女子大学)</p> <p>日本保育学会 第72回大会(大妻女子大学)</p>	<p>ダイアナ・ウィン・ジョーンズ作『魔法使いハウルと火の悪魔』を対象とし、多くの子どもに読まれる作品に現れるジェンダー観を、登場人物の関係性や登場頻度に着目して分析した。物語を推し進める原動力となる女性、一枚上手の女性に翻弄され英雄的とは言えない男性の様子から、現代社会を生きる子どもたちに伝えたい価値観が表れているとされるジョーンズ作品の押し出すジェンダー観が明らかとなった。 ルイス・キャロル作『不思議の国のアリス』は、独創的な内容と翻訳が難しい表現の多さから、日本では初めて紹介された明治期から現在に至るまで 100 近くの翻訳作品として出版されている。その中でも特に出版数の多い平成の約 30 年間に着目し、対象年齢の調査を行った結果、原作者の設定した対象年齢とは異なり、より幼児向けに言葉や内容が改編された読み聞かせ作品が増加</p>

<p>3. 学会口頭発表 レッジョ・エミリアの幼児教育とファンタジー： ジャンニ・ロダーリとの関わりに着目して</p>	<p>単独</p>	<p>2023年5月</p>	<p>日本保育学会第76回大会 (熊本学園大学、オンライン開催)</p>	<p>傾向にあることが明らかになった。レッジョ・エミリアで行われている画期的な幼児教育アプローチの中心人物とされるローリス・マラグッツィと、レッジョ・アプローチ成立の一助となったイタリアの児童文学作家ジャンニ・ロダーリとの関わりを考察した。マラグッツィの教育思想のひとつとして有名な「子どもたちの100の言葉」はロダーリがかつてレッジョ・エミリアで行った講演の内容に端を発しており、また現在レッジョ・アプローチでファンタジーを重視した教育が行われているのはロダーリがファンタジーの重要性を説いたことに起因することが明らかとなった。児童文学研究者・翻訳家灰島かり氏が東西の優れた絵本の分析を試みた『絵本を深く読む』を紹介した。特に、日本で長く読み継がれてきた名作絵本のみならず、著者の翻訳によって日本で出版された現代ならではのテーマを扱う絵本「ポストモダン絵本」への考察に着目した。また絵本内のジェンダーを分析し、男女のストーリーには「他者と出会う冒険」・「小さな母となるためのおつかい」という相違点が存在するという指摘にも言及した。</p>
<p>4. 書評 灰島かり(著)『絵本を深く読む』2017年 玉川大学出版部</p>	<p>単独</p>	<p>2018年5月</p>	<p>お茶の水女子大学子ども学研究紀要第6巻 pp. 83-84</p>	<p>本田和子氏が、第二次世界大戦下での小学校・国民学校時代を中心に回顧した自叙伝的著作を紹介した。当時の子どもたちを「少国民」「軍国少女」として形作る教育がいかになされていたのかを、「日本国史」「戦時歌謡」というふたつのキーワードから紐解いている点に着目した。戦時教育が巧みに子どもたちの遊びに取り込まれ、真面目でよい子であればあるほど「軍国少年・少女」となっていったという、本田氏自身の経験に基づく指摘にも言及した。</p>
<p>5. 書評 本田和子(著)『ところで軍国少女はどこへ行った』2019年 ななみ書房</p>	<p>単独</p>	<p>2022年6月</p>	<p>お茶の水女子大学子ども学研究紀要第10巻 pp. 111-112</p>	<p>本田和子氏が、第二次世界大戦下での小学校・国民学校時代を中心に回顧した自叙伝的著作を紹介した。当時の子どもたちを「少国民」「軍国少女」として形作る教育がいかになされていたのかを、「日本国史」「戦時歌謡」というふたつのキーワードから紐解いている点に着目した。戦時教育が巧みに子どもたちの遊びに取り込まれ、真面目でよい子であればあるほど「軍国少年・少女」となっていったという、本田氏自身の経験に基づく指摘にも言及した。</p>

(注) 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。